

## ちょっぴり緊張、でも楽しかったよ

「第8回とかち童謡まつり」が、7月1日(日)帯広文化ホールで行われました。このイベントは、本園の母体である「学校法人帯広葵学園」が主催するもので、本園、つつじが丘幼稚園、緑陽台保育園の3園合同で、いつも子ども達が口ずさんでいる「歌」を、カー杯歌って交流することを目標に開催され、今年で8回目になります。

この日は、休日ということもあり、最大 1,500 人の収容人数を誇る帯広市民文化ホールですが、9時30分の開場時間には、全席指定席にも関わらず、入場を待つ、たくさんのお客さままで、長い列ができていました。



○左上写真(年少)

「どうぶつえんにいこう」「おへそ」を愉快地に歌いました。

○左下写真(年長)「園歌」「たのしいね」「それがともだち」「おおきなうた」をきれいな声で歌いました。

○右上写真(年中)

「ほ・ほ・ほ」「にじ」を元気に歌いました。

☆童謡まつりをご覧になった保護者の皆様から、今後、よりよい童謡まつりにするためのご感想をお待ちしています。クラスだよりにて、ご感想をお願いしています。

## いつまでも元気でね(太陽園訪問)

7月5日(木)、年中組(すずらん・のいちご・こすもす)は、大正地区にある特別養護老人ホーム「太陽園」に行ってきました。核家族化の中で、普段、おじいちゃんやおばあちゃんに接することが少なくなってきましたが、幼稚園で一生懸命練習した「踊りや歌」を披露して、お年寄りに子ども達の「元気」をしっかりとお届けしてきました。(裏面に続く)



←子ども達から太陽園代表へプレゼントを渡しました。

【園からの出し物】

すずらん組 踊り「ラーメン体操」  
のいちご組 踊り「おさかな天国」  
こすもす組 踊り「夢をかなえてドラえもん」

※子ども達の何気ない気配りや心配りに、お年寄りの皆さんは、とても喜んでくださいました。

## よろしくお願ひします(新スタッフ紹介)

6月18日(月)より、本園の新しいスタッフ(職員)となった「鳥越絵梨子(とりこし えりこ)先生」を紹介いたします。えりこ先生は、主にすずらん組の補助員として勤務されますが、バスにも添乗することもあります。どうぞよろしくお願ひします。

### 『えりこ先生にインタビュー』

○帯広の森の子どもたちの印象は？

個性豊かで表情も豊かで、声をかけてくれる子どもたちが、とても可愛いです。また、上の子が下の子のお世話をしたりして、思いやりのある姿が、気持ち良かったです。

○自己アピールは？



ミニバレーやサッカーなどのスポーツを通して体力維持に努めています。また、「有言実行」と「努力して健康になる」よう心がけています。

○幼稚園に勤務しようとした動機は？

私は花が大好きです。花には早咲きの花もあれば遅咲きの花もあります。同じように育てても、その花のペースを大切に、その成長を楽しみに「待つ人」でありたいです。

子どもの成長も同じで、成長の第一段階である幼稚園のお仕事は、魅力的で「やりがい」を感じています。

## 初収穫(年少組 はつかだいこん)

低温・長雨が続き、農作物の収穫が危ぶまれる中、年少さんは、5月に植えた「はつかだいこん」の収穫をしました。収穫しただいこんは、調理員さんをお願いして、早速給食で「茹で野菜」として、おいしくいただきました。

